



写真左:5月8日、LA 青木さん宅ホームコンサート

写真右:J・マキさん(マキ・ミュージック)、田中ホセ(フラメンコ・ギタリスト)、私、ペドロ(映画「パッション」のフルート奏者)、サラ(ペドロの奥様)

## 工藤篤子メールマガジン49号 2004・05・21

●ロサンゼルス ●サンタ・クララ ●サンフランシスコ ●アナハイム ●「われは思う」

お元気でいらっしゃいますか？

4月26日にカリフォルニアに入り、3週間に渡って奉仕させていただいたロスアンゼルスとサンフランシスコでの6本の伝道コンサートを大きな祝福のうちに終え、18日夜、無事に日本に到着いたしました。お祈り、ありがとうございました！

今回が初めてのアメリカ渡航だったのですが、私の心のふるさとであるスペインに似たカリフォルニアの風景と気候、そして、何よりも、私を信仰に導いてくれたアンデルード宣教師ご夫妻の出身地、ということもあって、不思議な懐かしさを覚えました。ある日本人集会で挨拶をさせていただいた時に、「今回、初めてロスアンゼルスに帰ってきました。」と口走ってしまったほどでした。

●LA

ロスアンゼルスでは、敬虔なクリスチャンであり、CDプロデューサーをなさっているJ・マキさんと、マキさん率いるウエスト・LA・ホーリネス教会のゴスペル・グループ、NCM2のメンバーの皆さんが総出で、3つのコンサートの企画、広報、PA、司会、宿泊、移動などのご奉仕を献身的にしてくださいました。信仰への招きはしなかったのですが、5月8日の青木千鶴さん宅でのホームコンサートでは、二人の方が受洗を決心され、奉仕者一同救い主なる神をほめたたえました。

●サンフランシスコ、サンタ・クララ

サンフランシスコでは、JCTV「見えますか愛」の榊原直行先生が二つのコンサートをオーガナイズしてくださいました。直行先生は、テレビ伝道者の榊原寛先生のご子息ですが、お父様ゆずりの細心のご配慮をもって準備をしてくださいました。渡辺奈々さん宅ホームコンサートでは、企画者の渡辺奈々さんと木下弘美さんの熱い伝道への思いにととも励まされました。14日のサンタ・クララ日本人教会でのコンサートには、サンフランシスコ、サンホセ、サクラメントからもたくさんの方が駆けつけてくださいました。

## ●LA, Anaheim

16日は、LA のアナハイムのアメリカ人教会の礼拝で一時間の賛美と証しの時を持たせていただきました。この日、私を信仰に導いてくれたアンデルード宣教師のお母さんのアイリーン、そしてたくさんの知り合いが礼拝に駆けつけてくれました。

一番嬉しかったのは、スペイン時代(1983-1987)、私の声楽の生徒だった LA 出身のカレンが来てくれたことです。当時高校生だった彼女は、アメリカへ戻ってから、大学の音楽部に入学し、声楽コンクールで一位になるほどの実力をつけたのですが、麻薬に手をつけるようになり、そのため7回も投獄されました。数年前、やっと更正することができ、幸いな結婚に導かれ、男の子ができました。今は教会にも通うようになった彼女は、一番前の席で、最初から最後まで泣きっぱなしでした。

## ●「われは思う」考

カリフォルニアでは、たくさんの素晴らしい出会いがありましたが、そのひとつは、賛美奉仕をなさっている古川千鶴子さんとの出会いでした。1983年にスペインに留学して以来、8年ぶりに初めて日本に戻った私は、キリスト教書店へ行って、何か日本人のいい賛美のCDはありませんかと尋ねました。その時に勧められたのが、古川さんの賛美歌のCDだったのです。そこに収められた「われは思う(わがため十字架にかかりて、罪のこの身贖いたもう主の愛の深さを、われさえも愛したもう～)」を聞いて、涙が溢れました。それから、毎日彼女のCDを聞くようになりましたが、聞く度に、キリストの十字架が胸に迫りました。そして、私もこの歌を、心の歌として歌うようになったのです。その古川千鶴子さんが、5月9日のウエスト・LA・ホーリネス・教会のコンサートの日の朝の礼拝にて、特別賛美者としていらしたのです！そしてこの日、古川さんと幸いなお交わりをさせていただきました。

それから、サンフランシスコに行き、李ご夫妻のお宅に宿泊させていただいたのですが、ご主人のロバートさんが、今は LA のサウスベイ・ジャパニーズ・フェローシップで牧師をなさっている安藤英世師の「われは思う」を聞いて信仰に導かれたことをお話していただきました。安藤先生とは、一週間前に LA のお宅にホームステイさせていただき、ご夫妻と親しいお交わりをさせていただいたばかりでした。素晴らしいバリトンの声をお持ちの安藤先生は、60歳になってから献身して牧師になり、以降2枚の賛美CDを出されています。

作家であるロバートさんの奥様、竹下弘美さんがプレゼントして下さった弘美さんご自筆のエッセイ集「地に平和」の中の一ページに、安藤先生のごことが書かれてありました。この日、とても気さくでお優しい安藤先生が歌う「われは思う」に人を救う力があるのは、人生の目的がわからず釜ヶ崎で血を売りながら生活していた彼が、アメリカに来て救われ、キリストの平安を得、十字架の愛に揺さぶられて歌う賛美の力であることを知りました。

♪お祈りください♪

●時差ボケが早く解消しますように

●日本でのコンサートのために、

5月のコンサートは以下の通りです。

5月22日(土)神戸長田教会 賛美コンサート 19:00~20:30 連絡先:吉田 実牧師 078-691-0527

5月23日(日)神戸長田教会 礼拝賛美 連絡先:同上

5月30日(日)日基教団 大阪教会「大阪教会創立130周年記念伝道音楽会」 14:30 連絡先:教会、岡 村 恒師

Tel.06-6441-3070 Fax.06-6441-2840

今月は、来週にまたメルマガを送らせていただこうと思っています。

今週も共に主に感謝とところからの賛美を捧げてまいりましょう！

祝福に溢れた一週間でありますように！

シャローム

工藤篤子